

平成29年11月15日発行

RIKKO SEKAI No.1076 力行世界 平成29年11月15日発行 (1)

2017年

11月号

年4回発行(1. 4. 7. 10月号)

No.1076

(学法) 日本力行会

力行世界

R I K K O S E K A I



ブラジル力行会百周年記念式典参加者全員での記念写真(サンパウロ文協小講堂にて)

創立1897年1月1日



目次

ブラジル力行会創立100周年記念式典 慶祝訪問団……………	2～9	留学生、移住関連記事……………	14
りっこう幼稚園だより (敬老会、運動会、感謝の集い、 さんままつり)……………	10・11	書評……………	15
会館行事 (ウェルカムパーティ、読みきかせ、 茶道)……………	12・13	力行だより、力行祭告知……………	16

「ブラジル力行会創立100周年記念式典慶祝訪問団」

－各地で歓待、今後の日伯力行会の絆を深める－

今年は当日本力行会の友好団体である、ブラジル力行会の創立100周年と言う記念すべき年に当たり、現地からも「この機会に多くの関係者にブラジルにお越し頂き、交流を深めると共に今後の在り方について語り合いたい」との岡崎・ブラジル力行会会長からの強い要請に基づき、当会も「慶祝訪問団」を結成、公募したところ役員・会員関係者総勢14名が参加、9月15日から9月24日までの10日間と限られた日程ではあったが、100周年記念式典参加やアリアンサ移住地他を会員有志とバスにて各地を巡り、ブラジルにおける力行会の活躍ぶりと各地の会員達と交流を深めると共に、今後の活動の在り方についても意見交換を行うなど大変有意義な訪問となった。

以下ダイジェストにて、今回の訪伯の様子を報告いたします。

成田空港での結団式から

ブラジル・サンパウロ到着まで

訪伯団メンバーは各自成田空港にて集合、初めて出会う人達も多いこと、及び旅先での注意事項の確認を兼ねて空港・会議室にて結団式を実施、お互いの素性もよくわかったところで出国、アメリカン航空機にて一路経由地のアメリカ・ダラス空港へ移動。

ダラスでの乗り継ぎに大きな問題なく、飛行機を乗り換え、いよいよブラジルに向けて飛び立つこと2万キロ、約25時間の空の旅の後、ブラジル・

サンパウロのガルーリョス空港に無事到着、空港には岡崎・ブラジル力行会会長他多くの会員の方々の暖かい歓迎の出迎えを受けた。



成田空港での結団式



サンパウロ空港ではブラジル力行会幹部が多数お出迎え

アルモニア学園訪問

空港からは旅行社手配のマイクロバスにて、サンパウロ郊外のサンベルナルド市にある、力行会ゆかりの地である「アルモニア学園」を訪問。和田会長ほか学園幹部の方々のお出迎えと学園沿革史の説明、参加者メンバーの自己紹介を行った後、学園内部を見学、

以前は学生寮中心に経営されていた建物は、幼稚園から高校までの総合学園へと変貌し、当日訪れた際には、土曜日にも拘わらず多くの学園関係者が交流事業に励んでいたのが印象的であった。特に、「デカセギ」から帰国した日系子弟への教育支援サポート事業について、やはり、つい見落とされがち

な分野での教育支援はさすが「力行精神」に通じると強く感じた。一行は、ここで昼食のおもてなしを受け、多数用意された食事にお腹も心も満たされ、学園幹部の見送りの元、一路、サンパウロ市内に有るブラジル力行会館へ向かった。



訪伯団歓迎のスライド



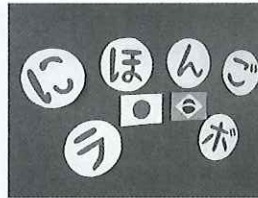
アルモニア学園本村マリオ理事の司会



村上理事長による訪伯団説明



学園全景、国花のイペーが満開



日本語ラボ



教室内部



図書室



アルモニアは太鼓演奏で有名



父兄による活動風景

ブラジル力行会館歓迎会

27年前にサンパウロ中心街にあった事務所から、会館保有のために現在地に移転した「ブラジル力行会館」では、多くの会員の方々からカフェーのおもてなしを受け、懐かしい顔触れと共に、現在のブラジル力行会の活動について説明があり、初めて訪れた訪問団メンバーには会館見学会などを実施した。現在、建物奥には一名下宿者が居るが、常駐の事務員はいない。さら

に、建物の老朽化が進み、今後の維持と会館の利用が検討課題と言えよう。



自家製ケーキで日伯力行会の絆を深める



歓迎の乾杯



手作りのサンドイッチで歓迎



歓迎会に参加頂いたブラジル力行会の皆さん



会館内には多数の書籍が保管されている



ブラジル力行会館正面



ブラジル力行会館横通路



ブラジル力行会館車庫入り口

ブラジル力行会創立 100 周年 記念式典

9月17日(日)、サンパウロ東洋人街にある文協小講堂にて開催。式典会場には、立ち席がでるほどの約250名が出席、当会から移住した会員及びその子弟、近年多数を受け入れた研修生達など、久しぶりに会ったその顔触れと、活躍を確認できる素晴らしい式典であった。

昨日訪れた「アルモニア学園」生徒達による日本及びブラジル国歌斉唱、会歌「力行奮闘の歌」を全員で斉唱の後式典は始まり、日本語は鉦本ミシェル元研修生、ポルトガル語は岡アルナルド氏による司会のもと式典は進行、弓場牧師による会員・会友の物故者への黙祷と記念礼拝、続いて岡崎ブラジル力行会会長による挨拶では「この100年の歴史は山あり・谷ありの歴史でありながらも、「霊肉救済」と「珈琲より人を作れ」の会の基本理念に忠

実に多くの会員がこの地で活躍された。来たるべき次の100年に向けて、我々力行会は次の世代にこの2つの理念を継承する責任がある」ことを強調された。また、来賓挨拶として、当会の村上理事長

が「この貴重な100年の歴史と重さを受け止め、今後とも日本とブラジルの力行の絆をさらに強めていきたい」と祝辞を述べた。

日伯間の記念品交換式の後(当会もブラジル力行会より記念の楯を贈呈された)、ブラジル力行会研修生OBを代表して友里カルド氏と入井智恵子氏が、



式典会場

研修当時の想い出と日本研修の機会を与えてくれた日伯両力行会へのお礼と祝辞が述べられ、続いて歴代ブラジル力行会会長及びその子息へのお礼の表彰式となり、代表して永田久・前ブラジル力行会会長からユーモアにあふれた感謝の言葉とスピーチに一同が爆笑と拍手喝采で式典前半が終了となった。



司会者の岡氏と鉦本氏



岡崎ブラジル力行会会長による挨拶



アルモニア学園生徒による国歌斉唱



村上理事長による祝辞



アルモニア学園和田会長による祝辞



西村財団西村治郎会長による祝辞



ブラジル力行会から日本力行会への感謝の記念プレート贈呈



元研修生・友リカルド氏の祝辞



歴代会長子息への感謝状贈呈式



元研修生・入井智恵子氏の祝辞



ユーモアたっぷりの永田前会長のお礼の言葉



吉岡理事による100種飲式典参加お礼

全員による記念撮影終了後に、会場を移しての祝賀会では、岡崎ブラジル力行会会長、村上力行会理事長、久保田力行海外協会理事長による記念のケーキカットのセレモニー、幸協理事による乾杯の挨拶の後、出席者は豪華な食事と会話を三々五々楽しんだ。

幸協理事による乾杯▶



祝賀ケーキの入刀式



各テーブルでは会話の華が

式典後半のアトラクションは生田流正派ブラジル琴の会の琴演奏、グループ民による民謡、中平マリコ氏による歌謡ショー、最後にアリアンサ移住地の弓場農場からこの日のために駆けつけてくれた弓場バレエが披露され、成功裡の内に式典は無事終了となった。

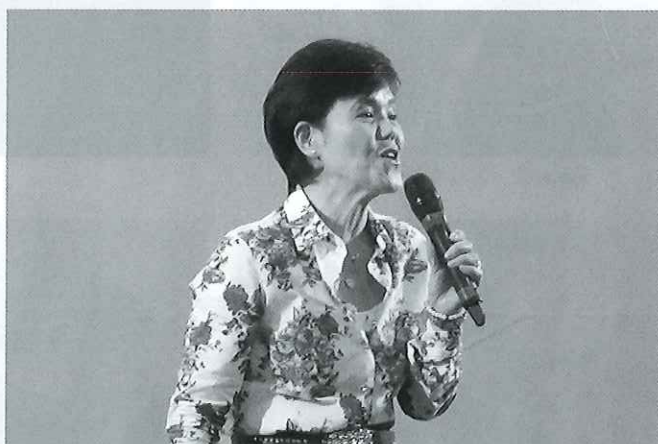
なお、この日の夜、返礼を兼ねた夕食会をサンパウロ市内のシュハスカリア(ブラジルバーベキュー屋)にて実施、ブラジル力行会役員及び元研修生らが多数出席し、大いに話で盛り上がった。



琴演奏



民謡



中平マリコ氏の歌謡ショー

弓 場 バ レ エ



力行会ゆかりの地を巡る バスツアー

式典翌日からは、3泊4日の予定でブラジル力行会会員の方々と共に力行会ゆかりの地を巡るバス旅行に同行、50名近い参加者と貴重な時間を共有できる素晴らしい体験をすることとなった。

初日に訪れたソロカバ市の「篠田農場」は、会員・故篠田四郎氏生前には別の地に養鶏場があったが、現在は息子さんの代となり、規模拡大のために

現在のソロカバ市に移転、現在200万羽の鶏を最新式の養鶏システムで管理、この規模でも中規模養鶏であると聞かされ、一同驚きであった。この日

の昼食は篠田氏から昼食をごちそうになり、チエテ河畔の元ファゼンダ（大農場）にての青空ランチは格別であった。



説明とご案内頂いた篠田氏ご子息



巨大な養鶏ゲージ



全てオートメーション



最新式の箱詰めマシン



故篠田四郎会員

その後はひたすらポンペイアにバスを走らせ、ブラジルの赤い大地に沈む大きな夕日を眺めながら夕刻、西村ファミリーの歓迎の元、JACTOクラブでの夕食歓迎会に臨み、その日の宿泊は西村財団ゲストハウスと近隣ホテルに分宿となった。

2日目、西村ジョルジ西村俊治財団理事長のご案内で、財団学園及び博物館訪問、JACTO工場見学を終日実施、故・西村俊治氏のたゆまぬ力行精神を再認識、最終日夕食では、各自参加者の自己紹介となり、中でも会員の方から「ブラジルに移住させて頂いた、永田先生に心から感謝している」という言葉に、一同大変心が打たれ、我々もその事業に携われたことに誇りすら感じた。

の自己紹介となり、中でも会員の方から「ブラジルに移住させて頂いた、永田先生に心から感謝している」という言葉に、一同大変心が打たれ、我々もその事業に携われたことに誇りすら感じた。



記念公園にて撮影



歓迎夕食会



財団内の学校見学



財団小中学校見学



財団内の博物館にて



JACTO工場見学

3日目、アリアンサ移住地訪問、言わずと知れた当会ブラジル移住の中心地であるが、第1アリアンサの頌徳公園には関係者が多数集まり、当初行われるはずではなかった「永田まつり」が開催され、物故者への黙祷、会歌「力行奮闘の歌」を参加者全員で斉唱後、アリアンサ連合会長の挨拶と、アリアンサの現状説明、ブラジル力行会を代表してロンドリーナ会員の狩谷氏より今回の訪問の目的と意義について説明、日本力行会から幸協理事が日本からの訪問団結成と訪問目的及び今後の交流の在り方についての祝辞を述べた。その後場所を第1アリアンサ会議場に移しての飲

迎昼食会となり、この日朝から全アリアンサより駆けつけ、腕によりをかけたご婦人の皆様方の豪華な食事に舌鼓を打つと共に、御地に育った日系子弟による日本語発表会では、「漬物」「天ぷら」「酒」「味噌」「せんべい」「うどん」「刺身」「梅干し」「醤油」「餅」「焼きそば」をテーマに日本とアリアンサの違いをユーモアを交えて子ども達が発表、会場からは大きな拍手で包まれた。この日の宿泊先は「弓場農場」で、農場ではアリアンサ移住史をとりまとめた矢崎正勝さんと弓場バレー指導者の小原明子さんがお出迎え頂き、参加者がそれぞれの宿泊先に別れ、夕食を知らせる角笛の合図で食堂に集合、矢崎氏のお祈りの後、この日は大変珍しいテラピアの刺身が食卓に上がり、まるでヒラメのような食感に一同が感動、夕食後は、農場有志によるコーラス披露があり、ここがまるでブラジルの奥地であるこ



歓迎会ではお祝いのパネルが

とを忘れさせてくれる歌声に感動した。その後、元幼稚園研修生であった弓場茜さんと弓場幸さんと再開し、現在の心境と今後について語り、今なお、大きな志をアリアンサという大地に持っていてくれること確認でき、大変希望を持てると共に、今後の活躍を期待したい。

バス旅行最終日はひたすらサンパウロに向けての岐路、数年前とは見違えるほどきれいになった高速道路と大きなブラジルの大地に感動、サンパウロ市内に近付くと交通渋滞に巻き込まれながらも無事出発点であるサンパウロ東洋人街のニッケイパレセ・ホテルに到着、解散となった。



記念公園にて全員撮影



第3アリアンサ集会場での記念写真



弓場農場での歓迎のコーラス



弓場農場内にあるアリアンサ博物館



頌徳公園のアリアンサ開拓記念碑



頌徳公園の永田桐会長銅像

今回の慶祝訪問団のブラジル訪問に当たっては、関係各位に御理解とご協力を賜ると共に、特に訪問地ブラジル

では、多くのブラジル力行会関係者に多大なるご支援を賜り厚くお礼を申し上げると共に、今後のさらなる日伯力

行会の力行の絆の親交を祈念いたします。

(文責・田中直樹)

今回の訪伯の際に出会った、元研修生・会館生のスナップ写真を掲載します。

これ以外にも、永井クラリッセさん、金子摩耶さん、伊能ホーザさん、寺尾タリッタさん、アナ・クララ花恵さん、Filipe Felix さんにも直接お会いできましたが、あいにく写真を撮り忘れましたこと、また、突然撮影されたものなどお見苦しい点が多々ありますことをお詫び申し上げます。

(文責・田中)



城セシリアさんと旦那さん



友ヒカルドさん



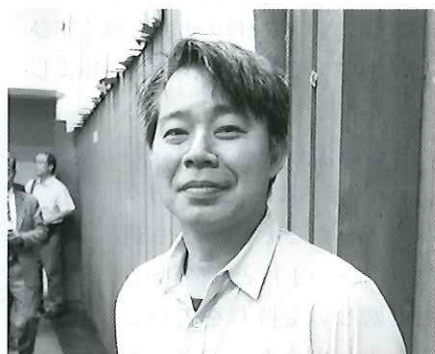
松野エリカさん



入井智恵子さん（左）と吉利フリツさん（右）



代田恵さん（右）



永田建也さん



新明チェリーさんと塚田マリーザさん



増田デニゼ明美さん（左）



栗山カロリーナさんと伊藤ブルーノさん



弓場茜さん（左）と弓場幸さん（右）



欽本浩美ミシェレさん

学校法人 **りっこう幼稚園だより**

敬老会

すみれぐみ担任 新郷 茜

まだまだ夏の暑さが残る9月13日、敬老会を行ないました。遠くは北海道や愛媛より、各地から300名を越える、園児の祖父母の方々が足を運んで下さいました。

「おじいちゃん・おばあちゃん まだお部屋に来ないの？」と、お集まりの時に待ちきれずに聞くなど、子ども達の心にも、祖父母の方々と過ごすひとときへの大きな期待が溢れていました。

礼拝堂での全体会が終わり、各クラスに祖父母の方々が来てくれると、子ども達は「おーい！」と手を振るなど嬉しい気持ちを表わしていました。来て下さった祖父母の方々に“みんなのおじいちゃん・おばあちゃん”として紹介し、お部屋での会が始まりました。祖父母の方々の自己紹介に一生懸命耳を傾け拍手を送ったり、一緒にお歌をうたったり、手遊びをしました。ももぐみは上手にできるようになったキッズ体操も披露

しました。祖父母の方々が一回ずつ送って下さる“上手にできたね”という気持ちのこもった拍手に、子ども達も笑顔を見せていました。また、一緒におやつゼリーも味わいました。終わりの時間が近づくと「えー！もうおしまい？」と名残り惜しようにする姿もありましたが、最後は「ありがとう！」とお礼を伝えました。「ありがとう。」と微笑む祖父母の方々の

顔を見て、子ども達も嬉しそうな表情を浮かべていました。帰りのお集まりでは、祖父母の方に絵本を読んでもらいました。いつもと違う読み聞かせに静まり返り、絵本の時間を共有しました。

この日に過ごした、短くも温い、和やかな時間が、子ども達、祖父母の方々の心にいつまでも残るものであってほしいと願っています。



運動会

ゆり組 根橋由衣

10月8日(日)、とても気持ちの良い青空の下、運動会を行ないました。この日の為に各学年沢山練習を重ね、「あと〇回寝たら運動会だね！」と指折り数え、期待の気持ちを膨らませながら過ごしていました。「ちか

らをあわせてエイエイオー！」当日は全園児で元気いっぱいの掛け声でスタートしました。ももぐみは初めての運動会に期待しながらもちょっぴり不安な表情を浮かべていたが、おうちの方と一緒に踊るリズムはと

ても可愛らしく温かなひとときでした。すみれぐみは沢山のお客さんに見守られ、緊張の中一人ひとり見せ場のあるマット運動やクラスで力を合わせるつな引きなど練習の積み重ねを感じられ、たくましい姿を見せ

てくれました。ゆりぐみは園生活最後の運動会。この日の為に何度も友

だちと話し合いをし、ぶつかり合ったり、くじけそうになったり、悔し

い思いを味わったこともありました。そんな子どもたちは入場から凛とし



た表情で良い緊張感の中、全ての競技で立派な姿を見せてくれました。最後のリレーでは終始順位が入れ替わる、白熱した展開となり、子どもたちの真剣に走る姿、応援しあう姿に三年間の成長が重なり、胸があつくなりました。運動会を通し、心も体もまた1つ大きくなった子どもたち。一人ひとり自分と向き合い、成し遂げた達成感を大きな自身につなげ、これからも様々なことに挑戦していけるように心から願っています。

さんま祭り

ゆり組フリー 寺田麻理

小雨が降るあいにくのお天気でしたが、職員室前の屋根の下で八台の七輪を並べ、無事さんま祭りが行いました。

子ども達は生のさんまの開きをじっと観察し、沢山のさんまにびっくりしていました。じっくりと熱く熱された炭が七輪に入り、380枚のさんまがお手伝い下さるお母様達の手により次々と焼かれていきます。

香ばしいさんまの香りに導かれ、次々と子ども達も興味津々に七輪の側に集まってきます。「いい匂い!」「おいしそう!」と覗き込み、みんなで手を休めずさんまを焼き続けて下さるお母様達に「よろしくお願いします」とご挨拶すると、「はい!」と頼もしいお返事を頂く事が出来ました。

さんまが焼き上がり、いよいよお弁当のおにぎりと一緒

にいただきます。年少・年中は半身を、年長は一匹いただきました。

じっくりと炭火で焼いたさんまはふっくら柔らかで「美味しい!」の声が続出でした。さんまには沢山の栄養があり、お魚を食べて丈夫な体をつく

りましょうと先生からのお話を聞きながら、「青魚は頭がよくなるんだよ!」と教えてくれたお友達もいました。

秋の味覚をみんなで味わい、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



力行国際交流サロン「茶道交流会」

去る9月30日(土)力行国際交流サロンで、毎年、お世話になっている立教大学の7名の茶道部員の皆様にご尽力頂き、恒例の「茶道交流会」を開催しました。

当日は、当会館・日本館の和室を会場に、サロンスタッフの空花様、大矢様のご協力のもと、アメリカ、ドイツ、中国、ブルネイ出身の18名の会館生が参加しました。お茶会は、2回に分けて行われ、各回共、食堂で受付後、茶室に席入りする形で、進行しました。急用で不参加の人、飛び入り参加の人もありましたが、参加者は全員、時間前に集まり、スタッフの方の的確なご指導、職員の迅速な対応、茶道部

員の皆様よりご丁寧で心温かいご対応を頂き、お陰様で滞りなく進行する事が出来ました。

2回共、席入り直後は、少し緊張した空気が流れていましたが、お菓子とお茶を頂いた後からお茶を点てる体験の頃には、会場の雰囲気は和やかで、日本語、英語が飛び交い、楽しく交流する姿を拝見する事が出来、大変、嬉しく思いました。今回の参加者も、茶道や日本の文化に深く興味を持っている人ばかりで、退席後のアンケート記入が終わった後も、サロンスタッフに茶道に関する質問をしている姿が見られました。

今回の開催にあたり、お世話になっ

た皆様へ、誌面にて、お礼をお伝えさせて頂きます。特に、今年度ご卒業になられる、立教大学茶道部の西巻理奈様と当麻あかね様には、4年に亘り、この会を支えて頂きました事、来年度より、現1年生の加藤綾華様に連絡係の引き継ぎをして頂きました事、感謝の気持ちで一杯です。改めまして、今後共、暖かいご支援の程、お願い申し上げます。又、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、立教大学茶道部の加藤綾華様より頂きました感想と、参加の会館生より、頂いたアンケートの茶道の感想についての部分を、紹介させて頂きます。



立教大学 茶道部 加藤 綾華 様より

留学生の方に茶道を教えるというのは私にとっては初めてで、とても貴重な体験をさせていただきました。

私自身、英語があまり得意ではないので、上手く説明はできなかったですが、茶道のみではなく、色々なお話ができてとても楽しかったです。

今回参加して頂いた中で茶道をもともと知っていた方は少なかったのですが、これを通して茶道に少しでも興味を持って頂けていれば、私たち立教大学茶道部一同嬉しい限りです。本当にありがとうございました。



会館生より(順不同)

- ①とても楽しいです。良いスタッフの人達で、雰囲気が良いです。(中国・女子)
- ②茶道の形式はとても正式です。メンバーはとても親切でした。可愛いです。(中国・女子)
- ③伝統的な日本の茶道を経験することができて、とても幸せです。もう一度経験したいです。(アメリカ・女子)
- ④とても素晴らしい経験でした。招待して下さり、本当にありがとうございます。お茶とお菓子は、本当に美味しかったし、学生達は本当に親切でフレンドリーでした。(ドイツ・女子)
- ⑤伝統的な茶道を経験できた事は、本当に良かったです。とても素晴らしく、皆が非常にとてもフレンドリーでした！本当にありがとう！(ドイツ・女子)
- ⑥とても感動した！日本の茶道がどのように行われるかを学べて、本当に素敵でした。(アメリカ・女子)
- ⑦とても美しい！本当にお茶とお菓子

が好きになりました。学生達もとても素晴らしい！なんて素晴らしい経験！(アメリカ・女子)

- ⑧茶道の雰囲気がいいです。とても楽しかったです。和敬清寂の精神が好きです。素晴らしい精神です。(中国・男子)

- ⑨私の家族とまた参加したいと思った程、とても良かったし、楽しかった。(アメリカ・男子)

- ⑩とても興味深く、リラックスした雰囲気です！とても素敵で親切な人達！(ドイツ・男子)

- ⑪茶道が本当に好きになった。とても楽しかった。ホスティングをありがとうございます。(アメリカ・男子)

- ⑫一つ一つの動作が興味深い事ばかりでした。茶道が本当に好きになりました。素晴らしい経験。お菓子と抹茶が好きになりました。(ブルネイ・女子)

- ⑬この素敵な経験は初めてです。又、この茶道に参加したいです。(ブルネイ・女子)

- ⑭抹茶を飲むのは初めてでしたが、大丈夫でした。とても楽しく、興味深いです。お菓子はとても美味しかったです。(ブルネイ・女子)

- ⑮茶道は楽しかったです。伝統的な茶道が好きです。自分自身でお茶を点てる事が出来た事も良かったです。とても楽しかった！ありがとう！(アメリカ・女子)

- ⑯それは本当に良くリラックスして、気持ちを切り替えて、物事をゆっくりと見ることが出来て良かった。(アメリカ・女子)

- ⑰とても礼儀正しく、素敵なお茶、フレンドリーな人達。(ドイツ・男子)



ウェルカムパーティーの感想文

平成29年9月14日

武蔵大学アメリカ人留学生
シールズ都子さん

I had a very pleasant experience moving into to Rikko Kaikan dormitory. The staff members were very helpful to help us to our rooms and help us to understand the different parts of the dormitory. After settling in, the staff even threw us a welcome party for all of the students who live in the dorm. We got to eat delicious desserts from the Anderson bakery, as well as other Japanese snacks and desserts. it was a very nice way to meet all of the students as well as have fun doing so. We played a game of rock paper scissors that included everyone with a winner in the end who won a coin from each person that they beat out of the game. it was alot of fun and a great way to meet the students that we may have never gotten the chance to meet. I hope to have more events like this at the dormitory, it was very enjoyable and I look forward to the upcoming semester.

会 員 計 報

力行祭の通知ありがとうございます。

父 植木長造儀 本年3月1日99歳にて永眠いたしました。

生前、力行祭へは何度も行きたいと言っておりましたが、体調すぐれず行けない状態でした。

入院時には看護師さんに力行会の話をさかんにしていたことが思い出されます。

また、力行商工業同窓会が生徒さんたちの都合により中止となり残念がっておりました。

長い間、お付きあいありがとうございました。

今後共よろしく願い申し上げます。

平成29年10月

埼玉県川越市
植木路之

ブラジル力行会100周年記念誌（日本語版）、 一般販売のお知らせ

この度のブラジル力行会創立100周年記念式典開催に合わせて作成された、ブラジル力行会100周年記念誌「ブラジル力行会100年の歩み（日本語版）」を送料込み7000円で一般販売いたします。

入手ご希望の方は、日本力行会事務局まで御連絡下さい。折り返し、入手方法を御連絡いたします。

なお、頒布冊数に限りがあること、発送はブラジル力行会から直接行われるため、お時間を頂くことをご了承下さい。



日本力行会機関紙「力行世界」 定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立120年を迎えました。「日本民族の霊肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生宿舍・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎え、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境づくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたいお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々へのご紹介も合わせてお願いいたします。

末筆に成りましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。

敬具

平成29年11月15日発行
年4回発行(1・4・7・10月号)
発行

(学法)日本力行会

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX 03-3972-1264

E-MAIL: rikko@rikkokai.or.jp

ホームページ

http://www.rikkokai.or.jp